

小 泊 村

116年の歴史に幕

— 小泊村閉村式・記念碑除幕式 —

3月10日小泊村閉村記念碑除幕式と閉村式が行われました。役場前に建立された閉村記念碑は北前船をかたどり、正面に「ありがとう小泊村 希望の未来へ翔びたとう」と加藤村長が揮毫したもので、村内の小中学生を含む6人で除幕しました。

閉村式はすくすくこどもり館で行われ、約300人が出席しました。式では、加藤村長が「小泊村の名称がなくなる寂しさを禁じえない

が、合併しても住んでよかった、住みつけたいと思える地域づくりを期待する」と式辞を述べました。また、新しい町への提案として小泊小学校5年の鈴木芳基君がごみのない町、助け合う町、観光客に喜ばれる町の3つの提案を発表しました。最後に加藤村長、佐藤議長らが村旗とシンボル旗を降納し、全員で「村民の歌」と「蛍の光」を合唱して116年続いた小泊村に別れを告げました。



中 里 町

中里町にお別れ

— 中里町合併50周年及び閉町記念式 —

3月16日中里町総合文化センター「パルナス」において、中里町合併50周年及び閉町記念式典が行われ、約320人が出席しました。

式のはじめに、これまでの中里町のあゆみをスライドで上映。出席者は懐かしい写真に目を奪われていました。

小野町長が「中里町の名前がなくなるのは寂しいが、新町発展の土台として町民の胸に刻み

込まれたと思う」と式辞を述べました。また歴代三役をはじめとした、これまで町政の発展に尽力された功労者一人ひとりに、小野町長から表彰状が手渡されました。

最後に小野町長と加賀田議長が町旗を降納して折りたたみ、昭和30年に旧中里町、武田村、内潟村が合併して以来続いていた中里町50年の歴史に幕を降ろしました。

